

ゆきんこフェスティバル①

IN マキノ高原

活動日時： 2月1日（土）

活動プログラム：

	集合・挨拶	おはようございます。二月に入り、寒さが一段と押し寄せてきているね。今日は行先の予定を変更して、滋賀県北部に位置する“マキノ高原”へ向かうよ。現地には雪が沢山あるから、存分に楽しもう！！
午前	雪遊び①	現地に向かうにつれ、雪が増えたね。マキノ高原に着いたら、早速雪遊びの格好に着替えて、遊び道具を持って、いざ雪原へ！まずは雪合戦をして、雪まみれになろう。ソリやスコップもあるから様々な遊びができるよ。一日とことん雪遊びを楽しもう！
	昼食	一時間ほど遊んだら、お昼休憩にしよう。しっかり食べて体力回復だ！午後からもいっぱい楽しむよ！！
	雪遊び②	午後からは各々がやりたい遊びをするだけでなく、全員で一緒に雪山をつくる場面もあり、みんなの仲が深まってきた様子だね。最後は、みんなで力を合わせて雪のトンネルを完成させ、素敵な思い出が出来たね。
午後	おやつタイム	帰り道の大きなスーパーに寄り道するよ。みんなで食べると、いつもより美味しく感じるね。
	現地出発 まったくねえ	存分に雪遊びを楽しむことが出来たかな？今回の経験を大切にして、またまた一緒に雪遊びを楽しもうね。まったくねえ～。



<全体感想>

昨年同様、今年もこの時期のゆきんこは少人数で行いました。しかし、少人数だからこそ見ることが出来た嬉しい光景がありました。今回ご参加いただいた中に三、四年生の男子におられました。その方々は、京都の定例活動のメンバーで、キャンプや日帰り遠足以外に毎月、活動にご参加いただいている。その定例活動には活動歴の長い高学年がおられ、その方々が中心となってグループワークなどが展開されています。その高学年の皆さん方が非常に頼りになる為、他の皆さんの活躍の場がどうしても薄れてしまいます。しかし、今回の活動において、その中学年男子が中心となり、活動が回っていました。かまくらづくりの際はみんなに指示を出し、雪合戦の時には先陣を切って立ち向かい、常にメンバーみんなの名前を積極的に呼ばれており、活動全体を大いに盛り上げていただきました。普段以上に頑張る姿を伺えることが出来、嬉しく思うと同時に、活動を通して確かな成長をされていると感じることが出来ました。こうしたメンバー皆さんの成長を垣間見る度に、やってきて良かったと実感しております。（竹中 哲郎）